

## フィンテック領域において主戦場である電子決済サービス

- フィンテックのサービスは多岐にわたりますが、なかでも一番はじめに注目を浴びたサービスが『電子決済』と言われています。
- 日本ではおサイフケータイとしておなじみのサービスですが、電子決済サービスの特徴は名前の通り、現金ではなくスマートフォン（またはモバイル端末）を介して料金の支払いを行う点にあります。
- 専用のアプリと銀行口座あるいはクレジットカードを紐づけることによって、便利で簡単にかつ安い手数料で資金のやり取りを行うことができます。
- 現在では店舗での買い物以外に、ネットショッピングの決済や海外送金に至るまで多様な場面でサービスの利用が広がりつつあります。



QRコードを利用した電子決済  
「WeChat Payment (ウィーチャットペイメント)」

- ✓ 本サービスは中国のテンセントホールディングスが提供しているメッセージングアプリ「WeChat(ウィーチャット)」を利用した店頭決済サービスになります。
- ✓ 同アプリのアクティブユーザー数は7億6,800万人\*とされ、買い物やタクシー、公共料金の支払いまで若者を中心に幅広く利用されています。
- ✓ 同サービスではあらかじめアプリと銀行口座を連携させることにより、支払いの際にQRコードを利用してワンタッチで決済することが可能になります。

\*:2016年9月時点

[出所]The Official WeChat Blog



スマホ接続でどこでもカード決済  
「Coiney (コイニー) ターミナル」

- ✓ 本サービスはスマートフォンやタブレット端末を使ったクレジットカード決済サービスになります。Coineyターミナルと呼ばれる付属機器をスマートフォンやタブレット端末に接続するだけでサービスの利用が可能になります。
- ✓ 同サービスは持ち運びも簡単なことから、顧客を待たせずにテーブル上で支払、または従来困難とされた屋台でのカード決済などあらゆる場面でクレジットカードを利用することが可能になります。

[出所]Coiney HP

### 投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

### ファンドにかかるリスク

本ファンドは、株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。また、外貨建て資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、**基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込む**ことがあります。

信託財産に生じた**利益及び損失は、全て投資者に帰属**します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の主な変動要因は以下の通りです。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

（主な変動要因）①価格変動リスク、②特定業種やテーマ銘柄へ投資が集中するリスク、③為替変動リスク、④信用リスク、⑤流動性リスク、⑥カントリーリスク、⑦デリバティブ（派生商品）に関する留意点

お申し込みの際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

### お客様にご負担いただく費用等

購入時手数料	上限 3.24% (税抜3.0%) (お買付時に直接ご負担いただく費用)
信託財産留保額	かかりません。 (途中解約時に直接ご負担いただく費用)
運用管理費用（信託報酬）	上限 年1.76904% (税抜：年1.638%) (保有期間中にファンドが負担する費用（間接的にご負担いただく費用）)
その他の費用および手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等（有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等）が信託財産から差引かれます。なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

当該費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

«ご注意»

投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申し込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

### 委託会社、その他関係法人

**委託会社：SBIアセットマネジメント株式会社**（ファンドの運用指図を行います。）

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第311号

加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

**受託会社：株式会社りそな銀行**（ファンド財産の保管・管理等を行います。）

**販売会社：株式会社SBI証券**

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第44号

加入協会／日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会